

# 自立活動だより

平成 29 年 8 月 9 日発行 No. 1  
 広島県立西条特別支援学校自立活動部

自立活動を主観点として、児童生徒の実態把握を深め、根拠を明確にし、目標設定の検討や指導方法の改善など、自立活動の指導の充実を目指し、「**自立活動アセスメントシート**」を作成しています。このたび、平成26年度に作成された自立活動アセスメントシートを改訂するとともにシートの**記入例**をまとめました。**アセスメントシート**及び**記入例**は、ホームページで公開しています。アセスメントシートの特徴等を紹介します。

## 主な特徴

### 自立活動の6区分

「1 健康の保持」、「2 心理的な安定」、「3 人間関係の形成」、  
 「4 環境の把握」、「5 身体の動き」、「6 コミュニケーション」

- 自立活動（6区分26項目）の**6区分ごとに実態把握のシート**が分かれています。「5 身体の動き」については、指導の更なる充実を目指すため、別紙として「**上肢の動きのチェックシート Ver. 2**」を加えています。
- 各区分の項目に応じて、**肢体不自由を重点とした実態把握の内容を設定**しています。教育課程にかかわらず、本校の多様な児童生徒実態に感じられるよう幅の広い内容を設定しています。
- 記入については、全ての内容ではなく、児童生徒の実態に応じて、**課題設定の必要や指導上の留意点があれば、該当の内容のみ記入**します。
- **実態把握の内容をあらかじめ設定**することにより、校内の肢体不自由教育に係る専門性の向上を目指します。
- 設定された実態把握の内容を継続的に確認することにより、**児童生徒の学習状況の評価や今後の見通しの検討**に取り組みやすくなります。



## 記入の仕方と記入例

各シートをまとめたら、「自立活動年間指導目標」シートを記入します。

→ 設定した内容の実態の状況にチェック（「ある・ない」や「◎・○・△・□」等）を付け、児童生徒の具体的な様子を記述欄に記入します。

### < 記入例 >

#### (1) 生活のリズムや生活習慣の形成

→ 体温の調節、覚醒と睡眠など健康状態の維持・改善に必要な生活のリズムを身に付けること、食事や排泄などの生活習慣の形成、衣服の調節、室温の調節や換気、感染予防のための清潔の保持など健康な生活環境の形成を図ること

タブにあるいくつかの選択肢の中から該当するものを選んでクリックします。



内容		実態	
覚醒と睡眠のリズム	日中は目覚めている	○	週明けは午前中寝ることが多い
	夜は眠れている（時間、質）	△	睡眠が浅く1～2時間ごとに目が覚める
	覚醒が下がる時間	一定	給食後に少し眠る
体力	病気による欠席日数	年間 日	どのように
	一年間で体調を崩しやすい時期、月	ある	季節の変わり目ごとに膝・腰・足首など痛みが出たりする

実態の記入をする場合は、該当の内容及び実態のセルを塗りつぶして色を着けます。